**許諾書 (変更届)**

R6.2更新

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

東京大学附属図書館長　殿

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな | (姓) | | (名) | | |
| 氏名 |  | |  | | |
| ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ氏名 |  | |  | | |
| 所属(専攻/コースまで記入) |  | | | | |
| 学籍番号（課程博士のみ） |  | | | 署名  （自署） |  |
| 連絡先 | Tel: |  | |
| (修了後も連絡可能なもの) | E-mail: |  | |

|  |  |
| --- | --- |
| 種別 | □課程博士　　□論文博士 |
| 論文題目   * 論文目録の記載と同じにしてください。 * 論文題目が外国語の場合には必ず和訳を、日本語の場合は英訳があれば括弧書きで付けてください。 * ProQuest(※2)へ登載可の場合は英訳が必須です。 |  |
| インターネット公表の可否  **[ 　 ]**のいずれかに○をつけてください。   * 複数該当する場合はいずれも○をして最終的な変更結果が判るようにしてください。 * 裏面に記載の書類等を添付してください。 | （①全文公表→特例による公表）  **[ 　 ]** 上記博士論文の全文公表から、**[** 一部除外・要約・書誌情報 **]**の公表に変更する。   * ①に該当する場合、既にProQuestデータベースで公開中の論文は全文公開を中止します |
| （②特例による公表→全文公表）  **[ 　 ]**特例による公表から、上記博士論文の全文公表に変更する。 |
| （③特例による公表内容の変更）  **[ 　 ]** 上記博士論文は東京大学が認める「やむを得ない事由」(※1)に該当するため、特例により公表していたが、「やむを得ない事由」の一部が解消したため、または該当事由に変更があったため、特例による公表内容を変更する。 |
| （④公表可能日の変更）  **[ 　 ]** 上記博士論文は東京大学が認める「やむを得ない事由」(※1)にある、「博士論文の全部または一部が、単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定」に該当するため公表可能日を設定していたが、以下の公表可能日に変更する。  または、「やむを得ない事由」の該当状況に変更があり「博士論文の全部または一部が、単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定」のみが該当することになったため、以下の公表可能日を設定する。  なお、以下の公表可能日を経過した場合には、他の理由がない限り、自動的に上記博士論文（全文）が公表されることを許諾する。  学位授与日 ：　　　　年　　月　　日  公表可能日 ：　　　　年　　月　　日  （学位授与日から最長５年）（←年数は研究科で定めて５年以内でご入力ください。） |
| (令和6年度以降学位申請者のみ)  「ProQuest Dissertations & Theses Global」(※2)への登載可否 | 上記②または④に該当する場合は、**[ 　 ]**内のいずれかに○をつけてください。  東京大学学術機関リポジトリにて全文公表された博士論文データの「ProQuest Dissertations & Theses Global」への登載について、**[** 許諾する・許諾しない**]**。   * 共著者がいる場合、同意承諾書で承諾が得られていなければ登載不可となります。 |
| 指導教員の確認  (論文博士の場合は紹介教員または主査) | 教員氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （自署） |

※1 別紙「博士論文のインターネット公表に関する確認票」を参照。

※2 別紙「ProQuest Dissertations & Theses Globalへの博士論文データの登載について」を参照。

以下、職員記入欄

|  |  |
| --- | --- |
| 学位記番号　：　博　　　　　第　　　　　　　　　　　　　号 | 学位授与年月日　：　令和　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 報告番号　：　甲　/　乙　第　　　　　　　　　　　　　号 | 公開年月日　：　令和　　　　年　　　　月　　　　日 |

学位記番号、学位授与年月日は研究科において記入／報告番号は本部学務課において記入／公開年月日は、附属図書館において記入

（①全文公表→特例による公表）

　　・「博士論文の内容を一部除外したもの」等のPDFファイル

　　・博士論文のインターネット公表に関する確認票（所定の様式）

　　・博士論文公表方法に関する特例申請書（所定の様式）

　　・「やむを得ない事由」を具体的に説明する資料

（②特例による公表→全文公表）

　　・博士論文の全文のPDFファイル　※提出済みであれば不要。

　　・博士論文のインターネット公表に関する確認票（所定の様式）

　　・表書きPDFファイル　※必要な場合のみ

（③特例による公表内容の変更）

　　・公表内容を変更した「博士論文の内容を一部除外したもの」等のPDFファイル

　　・博士論文のインターネット公表に関する確認票（所定の様式）

　　・「やむを得ない事由」を具体的に説明する資料（前回提出内容と、今回の変更点について明示的に説明）を加えたもの）

（④公表可能日の変更）

・博士論文のインターネット公表に関する確認票（所定の様式）

　　　・「やむを得ない事由」を具体的に説明する資料